

2022年7月1日

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	各種持効型インスリンアナログ製剤の、投与時間帯変更が血糖変動パターンに及ぼす影響の比較（後ろ向き研究）
倫理委員会承認番号	No.22-20
研究の対象	グラルギンU-100・グラルギンU-300・デグルデクのいずれかを用いており、2019年12月～2022年2月の間に血糖コントロール不良や低血糖など臨床的問題点解決のため投与時間帯を夕食前から朝食前に変更した1型および2型糖尿病の患者様、計12名です。
研究目的・方法	持効型インスリンアナログ製剤は24時間以上血中に留まる事が可能な製剤とされ、糖尿病の日常臨床においては基礎インスリン補充を目的に、グラルギンU-100・グラルギンU-300・デグルデクの3種類が多く使用されています。しかし、これら3種類の製剤の投与時間帯を変更することが、血糖の日内変動に如何なる影響を与えるかを比較した成績は少ない状況です。本研究は、日常臨床で3製剤を用いた糖尿病患者のうち、夕食前から朝食前に変更した患者様の血糖自己測定値を調査し比較することで各製剤の特徴を明らかにし、日常診療の質の向上に資することを目的としています。 方法は、患者様が実際に行った血糖自己測定表から投与時間帯変更前後4か月間の値を全て抽出し、各製剤間で比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	血糖自己測定の結果、および外来時に採血した日常診療の検査値（HbA1c・血糖値など）の一部を抽出します。
外部への試料・情報の提供	無
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	無
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 糖尿病代謝内科 研究責任者：石田和史 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	2022年11月に開催される日本糖尿病学会中国四国地方会および2023年5月に開催され日本糖尿病学会年次学術集会以発表予定です。